

連携大学ICT特別講義

インテンシブコース
大学院対象

期 日：7月25日（金）18：30～20：00

受信会場：島根大学医学部みらい棟4階ギャラクシー

がん患者の就労 -支える我々ができる事 現実と理想-

がんが日本人死亡原因の1位となったこと、また治療成績の向上により、がんを発症した後も通常に近い生活を送ることが可能な方が増えている。一方、治療にかかる医療費に充てるために、または家庭の収入を支える1員として、さらに社会と繋がりを維持し今まで通りの生活を送るために、がん発症後の就労は非常に重要な問題である。我々臨床医は就労に関する通院証明書や診断書をつくる機会があることから、多くの患者が仕事と治療・通院の両立可能な社会的支援を最大限利用していると思いがちである。しかし岩手医科大学がん患者支援・情報室の集計では就労に関する相談件数が多くないことが判明した。

就労に関する実務者、専門家が一同に会し、情報を公開・ディスカッションすることで、がん発症以降の就労の現実、国や県の方策、経験者の患者心理等にスポットを当て、特に「地方都市岩手でのがん患者の就労の現況」を明らかにする。それにより治療以外の側面から患者の生活を知り、適切な社会的支援をより安楽な治療環境の形成を目指す。

ゲストスピーカー：

国立がん研究センター がんサバイバーシップ支援研究部 部長 高橋 都 先生
岩手県保健福祉部 橋場 友司 先生
NPO法人いわてパノラマ福祉館：生活支援員・がん経験者 大坪 幸広 さん

配信会場：

岩手医科大学 内丸キャンパス 医学部2号館 5階 2番講義室

ICT接続予定大学：

順天堂大学・鳥取大学・岩手医科大学・東京理科大学・明治薬科大学、立教大学・島根大学

主担当大学・主担当教員：

岩手医科大学 准教授 伊藤 薫樹 先生
岩手医科大学 講師 柏葉 匡寛 先生

対象：

大学院生、医師、薬剤師、看護師など診療、教育、研究に携わる全ての医療人とします。

博士課程選択科目：

臨床腫瘍学V（32）、臨床腫瘍学VI（33）、地域がん治療学（37-1）、
がん医療社会学（37-3）、臓器病態学Ⅲ（65）、薬物動態学Ⅰ（70）、感染症学Ⅰ（83）

会場のギャラクシーは、病院のICカードをお持ちの方は外来棟からお入りいただけます。
ICカードをお持ちでない方は、お手数ですが外から（外来棟と立体駐車場の間を通るなど）
みらい棟玄関へお回りください。地図をご希望の方はお申し出ください。

お問い合わせ

島根大学医学部がんプロフェッショナル養成基盤事務局 電話 0853-20-2576